

経営比較分析表（令和4年度決算）

熊本市山都町 山都町包括医療センターそよう病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド透訓	救護へ輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
13,623	4,480	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
57	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	57
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
39	-	39

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

縦横分化・連携強化 (従来の縦横・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

上益城郡内唯一の救急告示病院、公立病院、へき地医療拠点病院として、急性期医療のみならず、回復期医療、へき地医療（3か所の無床診療所運営）、在宅医療（在宅看取りを含む）、訪問看護、地域包括ケア、保健事業に取り組み、高齢化率県内1位である山都町の地域医療を担う病院としての役割を果たしている。また、山都町のみならず、近隣の阿蘇郡の一部、宮崎県の一部を含めた広範な地域の医療を担っている。

新型コロナウイルス感染症対策においても、重点医療機関として、検査、外来診療、入院病床確保、ワクチン接種などを一般診療と向立つつ実施し、5類移行後も確保病床を維持し、医療資源の限られた地域において、自治体病院としての医療提供体制構築等の果たすべき役割に積極的に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率においては100%を超え、平均値を上回っているものの、コロナの影響により前年に続き低下した病床利用率を回復させるため、地域医療連携の推進強化による新規入院患者の増加を図る必要がある。職員給与費対医療収益比率は減少し平均値を下回っていることから、引き続き院内BCPや医師の働き方改革を考慮し、業務見直しや、ICT活用による省力化、医師・看護師のタスク・フロンティングを行い適正な人員配置を行うと同時に、適切な施設基準の取得、収益の確保について検討する。材料費対医療収益比率は、平均値未満であり、薬品、診療材料等の効率的な管理、調達ができていると判断する。

2. 老朽化の状況について

前年に続き有形固定資産減価償却率が増加傾向にある。旧病院施設（未除却）の解体について、町当局と協議のうえ検討中である。現病院、職員住宅等についても、長期的な視点をもって、長寿命化や設備更新を計画的に行う必要がある。

現在地への新築移転（平成24年11月）から11年が経過し、新築にあわせ導入された高額医療機器（透新機器、MRI、CT等）がいずれも耐用年数を超えているが、厳しい経営状況を踏まえ新規導入及び更新を抑制していたことから、機械備品減価償却率は平均値を超え上昇傾向にある。

1床当たり有形固定資産は旧病院が耐用年数を超えていること等から、類似病院より低い値となっている。

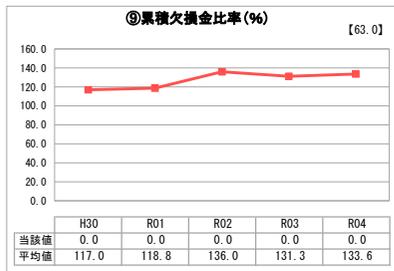
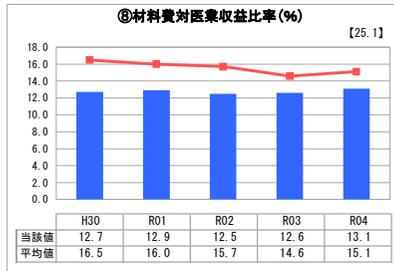
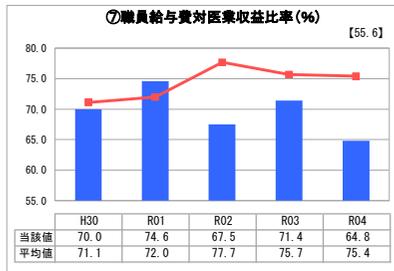
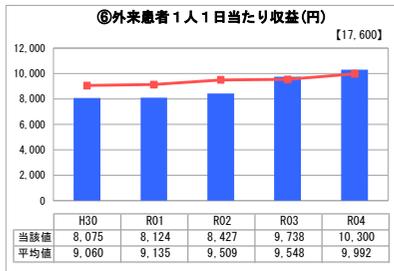
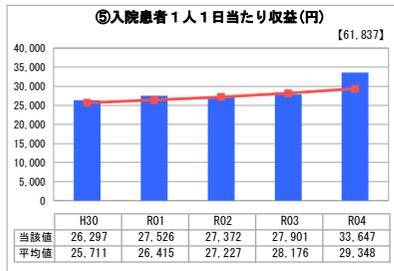
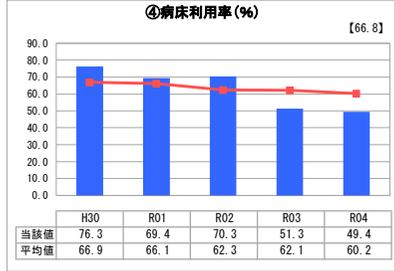
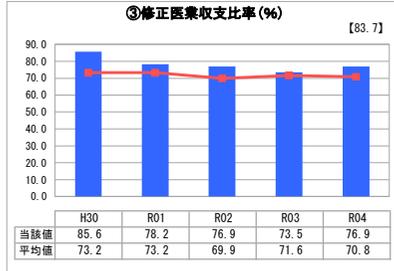
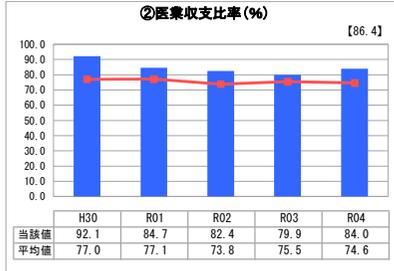
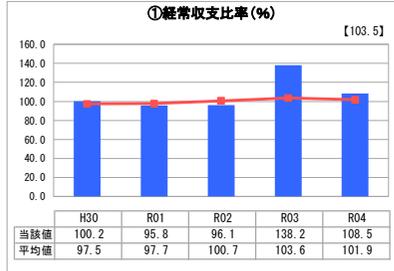
今後も、医療の質の向上、適正な収支のバランスを図りつつ、効率的な設備投資を行っていく。

全体総括

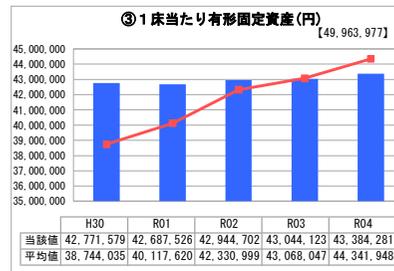
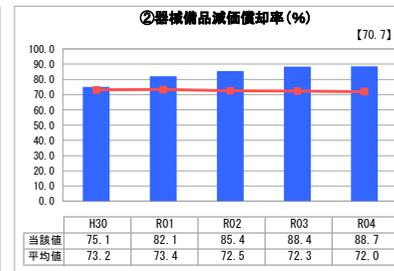
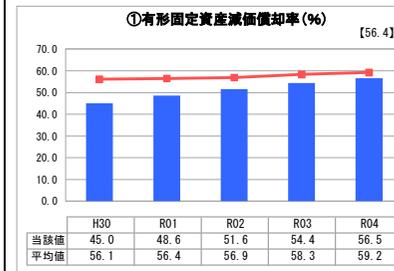
令和4年度は、前年に続きコロナ空床補償補助金の受入れにより経営収支比率が100%を超え、医療収支比率も平均値以上であったが、コロナの影響により病床利用率は3年連続で減少し平均値を大きく下回った。また、歯科及び3つのへき地診療所では外来収入、患者数ともに前年を下回った。

「地域医療の実践と継続」を目標に、地域医療に取り組むだけでなく、地域包括ケアシステムの拠点となるよう努め、公立病院に求められる役割を果たしているか自己点検・評価を重ねるとともに、町の付属機関である「そよう病院運営委員会」における客観的な審議・評価により、地域の基幹病院として住民のニーズに応え、地域に安心して暮らせる医療の提供を実践し維持する。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。